

幼保小連携推進地区事業

令和4年度 活動報告

南本宿地区

横浜市立南本宿小学校・横濱あんじゅ保育園

① 推進テーマ

異年齢の友達との関わりを通して、自分の成長への気付きや次への期待をもてる子ども（園児・児童）の育成
～日々の活動の中での連携を目指して～

設定の理由

- ・可能な範囲での園児・児童の交流の方法を工夫したい。
（以前行っていた連携を途切れさせないように）
- ・イベントに頼らない連携の仕方を考えたい。

② 今年度の重点課題 ～3年計画の1年目として～

- 「ちょこっと交流」の再開
 - ・ 園児の図書館利用
 - ・ 近隣公園での合流 など
- 園への贈り物（相手意識をもたせた活動の一つ）
 - ・ お手紙
 - ・ 田んぼカルタ
 - ・ 学校紹介動画（計画中）
- 園での一日体験、職員意見交換（小学校職員1名）
- 用具等の整備（補助金利用 次年度以降に向けて）

特色①

周辺に、大勢の子どもたちが
楽しめる広い公園があります。



南本宿公園



子ども自然公園(大池公園)



特色② 教育水田活動(大池公園内)



低学年が、「6年生、5年生、がんばって〜!」と、
田んぼの周りから応援します。

1年生は、夏休み明けに鳥おどしを作りました。



☀ この時期の田んぼの様子を見に行きたいと、連絡をいただいた園があり、鳥おどしの取り付け期間を伝えました。

計画① 4月初めにここにこタイム

～スタートカリキュラムでの一場面～

(園の先生方が来校 写真はH30年度)
1年生の気持ちを少し和らげて
いただきました。

※ 実施を予定していたが、感染症等の状況から見合わせた。



やあやあ、さるどん。
あのカキをとって・・・。

さるかに合戦のお話だ。ぼくも園で、読んでもらったよ。
あ、先生の顔がさるどんの顔になっている！ 面白いなあ。

計画② 園児・児童の交流活動

写真はR1年度

～5年生との交流～

みんなであそぼう！

じゃんけん列車



※ 実施を予定していたが、陽性者増のため断念。

～1年生との学校探検～



ここは理科室。
ほら見て、
がいこつだよ！

この本、読んで
あげるね。



③ 連携推進地区事業の実際

- 小学校職員 園での一日体験
低学年未経験職員（6年目）が、年次研の一つとして
1日保育体験
- 園の職員との意見交換
 - ・ 小学校職員の質問や感想
 - ・ 園の特色、大事にしてきたこと
 - ・ 小学校入学に向けて など

③ 連携推進地区事業の実際

「ちょこっと交流」の再開

図書館利用（2月）のお誘い

お世話になっております。幼保小連携の一つとして、南本小の図書館をご利用いただく「ちょこっと交流」のお誘いです。大勢の子どもたちが集まっての活動はまだ難しいですが、園児の皆さんに学校に来ていただく機会ができればと思い、お知らせいたします。次の中でご都合のよい日にちがありましたら、「ちょこっと交流」として、ぜひ、ご利用ください。

《おすすめの時間》

10:10～10:30の中休み

（この時間は、図書委員の児童や利用しに来たいろいろな学年の児童20人程度がいます。）

※ 8日（水）の中休みは、体カアップ（校庭、長縄）の予備日となっています。

《ご利用いただけない日》

・毎週月曜日（図書館司書不在）

・16日（木）、21日（火）、28日（火）

急な変更があるかもしれませんので、ご利用いただく場合は、できましたら3日前までにご連絡ください。どうぞよろしく願います。

ちよこっと交流

写真はR1年度

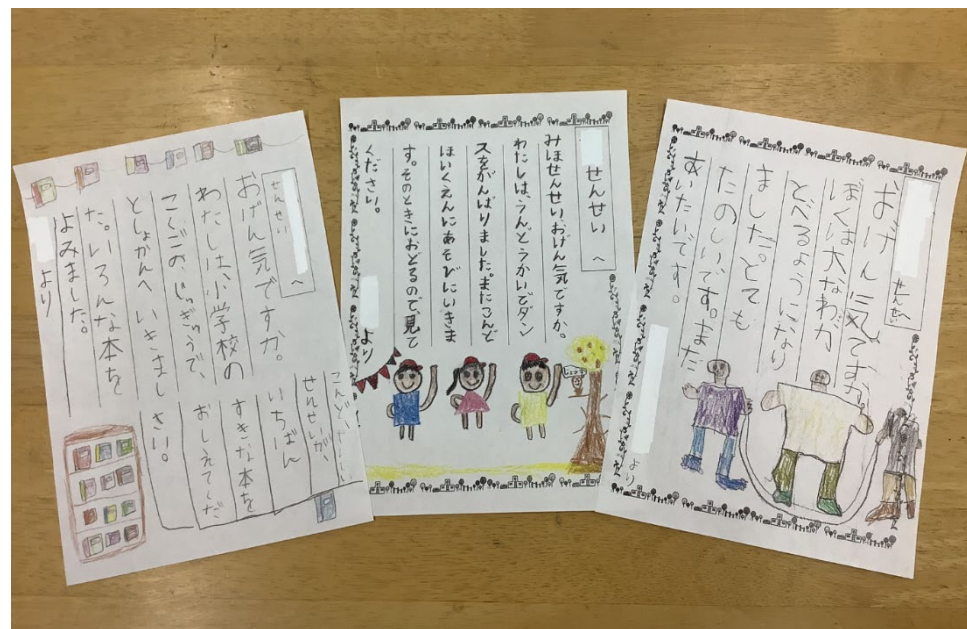
園児の図書館利用 (休み時間)

図書委員の児童が、紙芝居を読んであげました。年長さんたちが喜んでくれたので、図書委員の児童も嬉しそうでした。

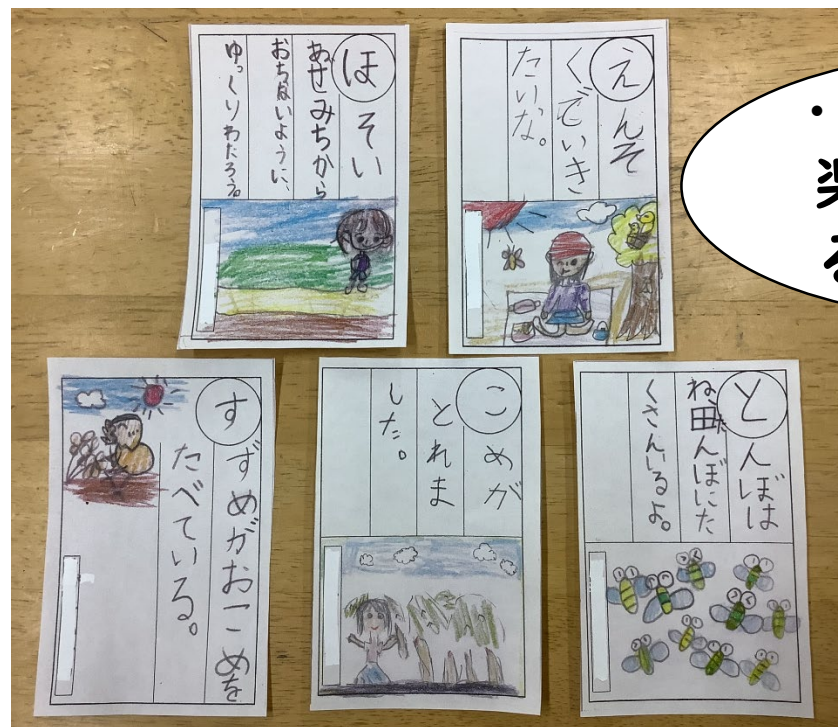


③ 連携推進地区事業の実際 園への贈り物

先生方へのお手紙



田んぼカルタ



・年長さんが
楽しんでくれる
といいな。

③ 連携推進地区事業の実際

学校生活の紹介 ①

(スライドや動画の中から)

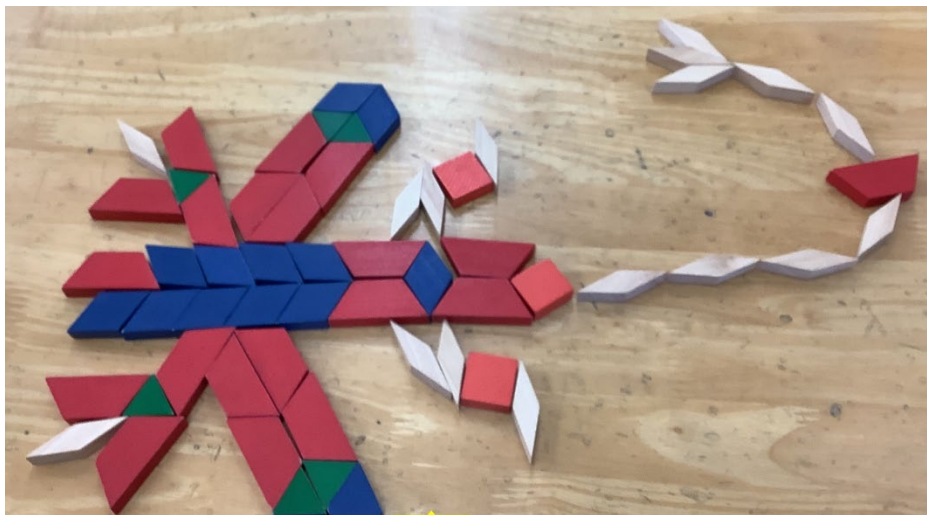


③ 連携推進地区事業の実際

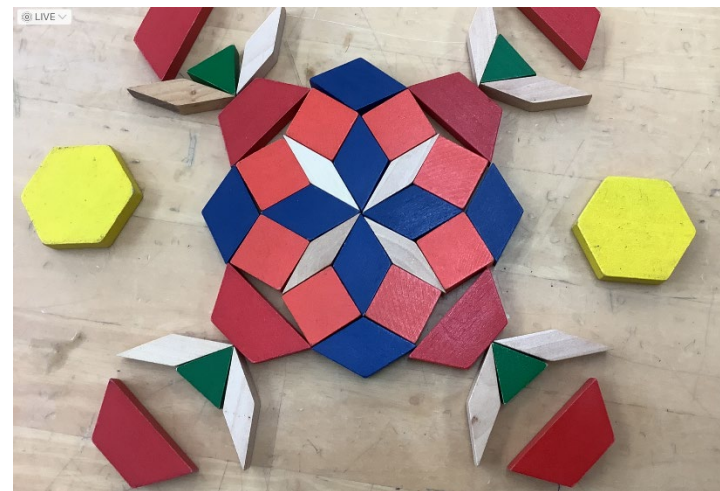
学校生活の紹介 ②

(スライドや動画の中から)

パターンブロックで形遊び



いろいろな形ができて、
楽しいよ。



③ 連携推進地区事業の実際

学校生活の紹介 ③

(スライドや動画の中から)

カプラで遊ぼう



グループの友達や新しい1年生と一緒に遊んだら、もっとすごいものが作れそう!!

④ 成果と課題

～園児・児童の直接交流再開に向けて～

<成果>

- 直接交流には踏み切れず制約のある中ではあったが、小学校では日々の活動において、児童が相手意識をもてるような活動の設定、声かけなどの支援をしてきた。それにより、児童の何気ない会話の中で「年長さんに・・・」「今度の1年生と・・・」などの言葉が度々出るようになってきている。次年度（新2年生、新1年生として）の活動に繋げたい。
- パターンブロックやカプラなど、園児・児童が集まって楽しむには数が必要な用具を少しずつ揃えることができた。

<課題> 次年度以降の直接交流再開に向けて

- 推進テーマ等の見直しと年間計画
(園の意向をさらに取り入れて)
- 園との連絡調整
 - ・意見交換
 - ・活動のねらいと内容
 - ・日程
 - など
- 活動内容に応じた具体的な感染症対策
- 用具等の整備と効果的な活用法